

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

寒さ厳しき折、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろは本校教育推進のため、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、平成29年度の「全国学力・学習状況調査」の結果につきましては、学校だより10月号の速報版でお知らせしたところですが今回は細かく分析した結果をご報告させていただきます。

尼崎市は、小学校41校の6年生計3378人、中学校17校の3年生計3141人が参加し、国語と算数(数学)を実施しました。尼崎市は、国語と算数(数学)のいずれも平均正答率でやや全国平均を下回りましたが、テストを初めて実施した平成19年度頃から比べると、着実に全国との差は縮まっています。ただ、小学校においては、この5年間伸び悩んでいるのが現状です。このような状況の中で、本校は、今年度もすべての項目が上まわり、よい成績を残すことができました。また、学習状況調査は、全94項目(中学校だけの質問も含め)の質問に児童が答え、その結果をもとに学習定着度や学習状況について数字で表し、客観的に課題等を把握・分析できるようになっています。

これらの結果を受け、本校でも児童の学習定着度や学習状況について客観的に把握し分析しました。そして、今後の指導体制や学習方法、学習環境の工夫改善に役立たせたいと考えています。

今回の結果をもって本校のすべての学力・学習状況を表すものではありませんが、この結果を踏まえて、学校・家庭が学力向上や生活改善に向けて、いっそうの取り組みを進めなければなりません。今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 全国学力調査結果の概要

(1) 平成29年度の平均正答率(昨年度より数値は四捨五入して整数値で表しています)

	潮小学校	尼崎市	兵庫県	全国
国語 A(知識)	78	72	75	75
国語 B(活用)	62	55	57	58
算数 A(知識)	87	76	78	79
算数 B(活用)	54	43	46	46

(問題A=身につけておかなければ次の学年等で学習内容に影響を及ぼす内容の問題、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などの問題)

(問題B=知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力などを求められる問題、応用力が試される問題)

(2) 各教科の考察

《国語》

国語科に関しては、問題A・Bともに全国水準を超えています。本校の正答率を分布図で表すと、国語Aでは全15問中12問以上の正解率が70%に届く勢いです。また、国語Bは、全9問中6問以上の正解率が60%を超えていました。この結果から上位層が頂点となる山形の分布図が描かれます。そんな中で、問題Aの中でできていない問題を具体的に分析すると、①目的や意図に応じ、そこに書かれている文の内容や中心を明確に捉え、尋ねられていることを書く②書かれている内容の説明として適切なものを選択する③事実と感想、意見など区別できるなど、書かれている文の内容や説明等を読み取ること、自分の言葉で書くことに弱点があることがわかりました。漢字の読み書き等はよくできていますので、今後は、文の内容をしっかりと読み、何が書かれているのか、文全体から話の意図をしっかりとつかむなど、読解力と書くことに力を入れていきたいと思えます。次に、問題Bでできていない問題を具体的に分析すると、①目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを書く②自分の考えを広げたり深めたりすること、以上の内容理解が不十分なために問題を解決できないことがわかりました。今後は、二つ以上の資料から読み取りができるようにすること、そこで得られたことを根拠にして、自分の意見をしっかりと書くことができるようにするという経験を繰り返させることが大切であると考えました。また、読み取りは、文中の記述を根拠に行うという基本を徹底して指導していきたいと考えています。

《算数》

算数科に関しても、問題A・Bともに全国水準を超えています。特に問題Aは、全15問中12問以上の正解率が80%を超えるという全国的にもトップクラスの正解率となりました。そ

れに比べ問題 B は、全 11 問中 6 問以上の正解率と 6 問以下の正解率がほぼ同じとなり、本校の課題が明確に表れました。つまり、算数科においては基礎学力の高さがうかがえると同時に活用力、応用力の弱さが鮮明に見られるということです。問題 A を具体的に分析すると、①割合や単位量あたりに関する問題が弱いことがわかります。また、②数直線を利用した問題も弱さを感じました。これらの結果から、今後は、数直線をもとにした数量の概念を理解させたり、自力で数直線を描く活動を多く取り入れるなどして、数量のとらえ方や妥当性を身につける経験をさせたいと考えます。問題 B を具体的に分析すると、①情報や数的根拠から数学的概念を生み出す問題②植木算等の応用問題を解決する力等が非常に弱いことがわかりました。大きな課題ですが、今後の取り組みとしては、①問題の内容と意図をしっかりと理解して数量など数学的な物の見方を習慣化させる②数多くの問題、多様な文章問題に挑戦する③ヒントを導き出すために、その問題に合った図や補助線、数直線等が使えるようになることを目標として取り組んでいきます。

2 学習(生活)状況調査(数値は「はい」「どちらかといえばはい」合計の%)

(94項目の質問から大事な項目を抜き出しています。)

(単位は%)

質問内容	H29潮小	H29全国
1 難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか	△54.9	77.4
2 将来の夢や目標を持っていますか	△72.5	85.9
3 自分には、よいところがあると思いますか	68.6	77.9
4 みんなで協力してやり遂げ、嬉しかったことはありますか	92.2	87.8
5 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	82.3	92.5
6 学校に行くのは楽しいと思いますか	76.5	86.3
7 学校のきまりを守っていますか	88.2	92.6
8 学校で友だちに会うのは楽しいと思いますか	96.1	96.4
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	92.2	96.1
10 今住んでいる地域の行事に参加していますか	△39.2	62.6
11 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	66.7	64.5
12 家で、学校の授業の予習をしていますか	35.3	41.0
13 家で、学校の授業の復習をしていますか	56.8	53.8
14 授業では友だちと話し合う活動は行っていましたか	88.3	84.5
15 授業の始めにめあてが示されていましたか	100.0	88.2
16 授業の最後に学習内容の振り返りを行っていましたか	94.1	76.2
17 ノートには、学習の目標やまとめを書いていましたか	98.0	88.7
18 読書は好きですか	64.7	74.3
19 国語の勉強は大切だと思いますか	90.2	91.2
20 国語の勉強は好きですか	64.7	60.5
21 国語の授業はよくわかりますか	78.5	82.2
22 算数の勉強は好きですか	70.6	65.9
23 算数の勉強は大切だと思いますか	92.1	92.0
24 問題が分からない時、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	72.5	81.1

△印は全国と比べてかなり劣るもの、太字は優れるものです。

〈学校生活〉

学校に行くのは楽しいと回答した児童の割合は76.5%で、全国平均よりやや低かったようです。児童が魅力を感じる楽しい学校づくりを再構築する必要性を感じました。

〈自尊心を高める〉

アンケート項目の2、3、5については、自尊心の高さを観ることができる項目です。遠慮がちになっていますが、もっと自分の素敵な部分をアピールしてほしいと思います。「失敗を恐れず挑戦する」気持ちもまだまだ弱いです。もっと自分に自信をもちましょう。

〈家庭学習〉

「家庭において自分で計画を立てて勉強をしている」は徐々に伸びています。自主学も含め、家庭での予習・復習にも力を入れてほしいと思います。家庭学習の時間が長いほど、学力の伸びは高くなります。(スタディプランを利用して、「今、学校で何を学習しているか」ご家庭でも把握していただけたら嬉しく思います。何を予習・復習したらいいのか見えてくるとと思います。)

〈地域や家庭のつながり〉

昨年に続き地域行事への参加は極端に低い数値になっています。本校地区は地域行事も多くありますので、地域行事への積極的な参加をお願いいたします。

〈全体を通じて〉

本校の教育活動に関する取り組みは、尼崎市教育委員会を含め高い評価を受けています。「継続は力なり」を合い言葉に、これまでコツコツと積み上げてきたこと(潮スタイル・スタディプラン・自主学・生活リズム運動など)にさらに磨きをかけ取り組んでいきます。そのためには、学校だけではなくご家庭のご理解とご協力は不可欠です。どうか、今後ともご家庭におけるお子様へのご支援をお願いいたします。